

処方せん医薬品<sup>注</sup>

日本薬局方 塩化カルシウム注射液

## 塩化カルシウム注2%「NP」

CALCIUM CHLORIDE INJECTION

貯 法：室温保存  
 使用期限：容器等に記載  
 注 意：「取扱い上の注意」参照

承認番号	22500AMX00750
薬価収載	2013年12月
販売開始	1974年5月
再評価結果	1986年12月

## 禁忌（次の患者には投与しないこと）

- 強心配糖体（ジゴキシン等）の投与を受けている患者（「3. 相互作用」の項参照）
- 高カルシウム血症の患者〔高カルシウム血症が悪化するおそれがある。〕
- 腎結石のある患者〔結石症が悪化するおそれがある。また、腎の石灰化や尿路結石を誘発するおそれがある。〕
- 重篤な腎不全のある患者〔高カルシウム血症が悪化するおそれがある。〕

## 【組成・性状】

## 1. 組成

販売名	塩化カルシウム注2%「NP」
容量	20mL
有効成分 (1管中)	日本薬局方 塩化カルシウム水和物 0.54g (CaCl <sub>2</sub> として 0.4g)

## 2. 製剤の性状

性状	無色透明の水性注射液
容器	無色のガラスアンプル
pH	4.5～7.5
浸透圧比 (生理食塩液に対する比)	約2

## 【効能・効果】

- 低カルシウム血症に起因する下記症候の改善  
テタニー、テタニー関連症状
- 鉛中毒症
- マグネシウム中毒症
- 下記代謝性骨疾患におけるカルシウム補給  
妊婦・産婦の骨軟化症

## 【用法・用量】

塩化カルシウム水和物として、通常成人0.4～1.0g（カルシウムとして7.2～18mEq；本剤20～50mL）を2%（0.36mEq/mL）液として、1日1回静脈内に緩徐に（カルシウムとして毎分0.68～1.36mEq；本剤20mLあたり5～10分間）注射する。ただし、妊婦・産婦の骨軟化症に用いる場合は、経口投与不能時に限る。  
 なお、年齢、症状により適宜増減する。

## 【使用上の注意】

## 1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- 活性型ビタミンD製剤を服用している患者〔高カルシウム血症を生じるおそれがある。〕
- 腎不全を有する低カルシウム血症の患者〔アシドーシスを促進するおそれがある。〕
- 高カルシウム血症があらわれやすい病態の患者〔高カルシウム血症を生じるおそれがある。〕

## 2. 重要な基本的注意

- 長期投与により血中及び尿中カルシウムが高値になることがあるので、長期投与する場合には定期的に血中又は尿中カルシウムを検査することが望ましい。また、高カルシウム血症があらわれた場合には、投与を中止すること。
- 静脈内注射は緩徐に（カルシウムとして毎分0.68～1.36mEq）行うこと。〔急速な静脈内注射によって動悸、徐脈、血圧変動、熱感、潮紅、発汗等があらわれることがある。〕

## 3. 相互作用

## 併用禁忌（併用しないこと）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ジギタリス製剤・ジゴキシン等	心停止を引き起こすことがある。	カルシウムがジギタリス製剤の作用を増強するおそれがある。

## 4. 副作用

本剤は、副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類・頻度	頻度不明
長期投与	高カルシウム血症、結石症
代謝異常	アシドーシス
消化器	食欲不振、便秘等
注射部位	血管外漏出による組織の炎症、壊死

## 5. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、投与速度を緩徐にし、減量するなど注意すること。

## 6. 適用上の注意

- 開封後直ちに使用し、残液は決して使用しないこと。
- 投与経路  
静脈内注射にのみ使用すること。
- 調製時

- クエン酸塩、炭酸塩、リン酸塩、硫酸塩、酒石酸塩等を含む製剤と混合した場合、沈殿を生じるので混合を避けること。
- エタノールにより沈殿を生じるので、エタノールで消毒した注射器は用いないこと。

#### 4) 投与前

- (1) 投与前には、感染に対する配慮をすること。
- (2) 寒冷期には、体温程度に温めて使用すること。

#### 5) 投与时

投与时には、血管外に漏出しないよう注意すること。

#### 6) アンブルカット時

本剤は、ワンポイントカットアンブルを使用している  
ので、アンブル頭部のマークを上にして反対側（下の  
方向）に軽く力を加えてカットすること。なお、アン  
ブルカット時の異物混入を避けるため、首部の周りを  
エタノール綿等で清拭すること。

このとき、エタノールが内容液中に混入しないよう注  
意すること。

### 【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：塩化カルシウム水和物（Calcium Chloride Hydrate）

分子式：CaCl<sub>2</sub>・2H<sub>2</sub>O

分子量：147.01

性 状：・白色の粒又は塊で、においはない。

- ・水に極めて溶けやすく、エタノール（95）にや  
や溶けやすく、ジエチルエーテルにほとんど溶  
けない。

- ・潮解性である。

### 【取扱い上の注意】

#### 安定性試験

最終包装製品を用いた長期保存試験〔室温（1～30℃）、3  
年間〕の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、塩  
化カルシウム注2%「NP」は通常の市場流通下において3  
年間安定であることが確認された。<sup>1)</sup>

### 【包 装】

20mL×50管

### 【主 要 文 献】

1) ニプロ（株）：社内資料（安定性試験）

### 【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】

主要文献欄に記載の社内資料につきましても下記にご請求  
ください。

ニプロ株式会社 医薬品情報室

〒541-0045 大阪市中央区道修町2丁目2番7号

☎ 0120-226-898

FAX 06-6231-7910



製造販売

ニプロ株式会社

大阪市北区本庄西3丁目9番3号